114
A 769

明治　年　月　日譯了 田島

大臣

次官 周布

飜譯局長 小村

飜譯局次長

私信

（大隈伯閣下）　ア、シエンキエウヰチ

拝啓陳者日本ニ於テ死去セシ外國人ノ爲メ供養塔ノ
之儀ニ付拙者ハ榎本子ト兩國回向院ニテ同子トノ
間ニ往復シタル書翰有之候ニ付其寫ヲ全ク懇意上

外務省

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

写

シエンキエウヰチ閣下　　榎本武揚

過日来意外ノ出来事相生シ候ニ付一寸御説明ニ及ヒ置候

一二週間前瀧本豊明〔彰〕鈴木経勲(孰レモ旧幕臣)抔ト申者来リ過ル革命中ニ旧佐川家臣及ヒ革命前日本ニテ殺サレタル外国人ノ霊魂ノ為メ其ニ一ツノ祭典ヲ挙行致度旨申立テ拙者ニ助力(金円ヲ以テ)ヲ仰キ候ニ付其意ニ応シテ

ヲ以テ茲ニ御一覧ニ供シ不取敢得貴意度敬具

千八百八十九年四月十九日於東京仏国公使館

助力ヲ約シ候處其後彼ヨリ招状ヲ送リ旁々申越候ニハ右
祭奠ハ去ル四月十四日日曜日上野馬見場ニテ執行可致
トノ事ニ候間其意ニ任セ祭奠ヘ參會致候處成ル程
各國種々ノ國旗ヲ掲ケ死者ノ紀念碑ヲモ見掛ケ候ニ只
一人ノ外国人ヲモ見受ケ不申候
其後承リ候得ハ其翌日築地天主堂ニ於テ外国人死者ノ
為ノ公ケナル法會ヲ挙ケタリトノ事ニ候　拙者ハ當日招状ヲ
受ケザルノミナラス其前十四日一備ニ祭奠ノ設ケアリシコトヘ又
十五日外国人ノ為メ公然タル祭奠ノアリシコト等毛頭存ゼザ
ル次第ニ候
然ルニ些ト酷ニ過グルト云フモノハ彼輩カ徳川公勝伯及ビ
拙者ノ名ヲ以テ各国公使ヘ招状ヲ發シタル様ニ相聞ヘ候義
ニテ何共驚入リタル次第ニ候　果シテ拙者共ガ其發起者
ナランニハ誰シモカ其時ニ參會セザルベキヤ又決シテ外国公使
ヘ禮儀ヲ欠ク様ノ事ハ有之間敷候
今日拙者ハ招状差出人等ヲ召シ付ケ厳シク問質シ候處

拙者ハ當ニ頻リニ平謝致シ候

前述ノ次第ニ付拙者カ月曜日ノ祭奠ニ出席致サス且ツ又

招状発送ニ関シテハ全ク関係ヲ有セサリシ義ハ閣下ニ

於テモ御了察ヲ仰キ度候　敬具

千八百八十九年四月十六日於東京

写

私信

榎本子爵閣下　　シエンキエウヰチ

本月十五日築地天主堂ニテ執行セシ祭奠ニ出席ノ招状ヲ瀧本

豊國鈴木經勲ノ両氏カ閣下ノ名ヲ以テ外交官一統ヘ発送

シタルコトハ閣下ノ許ヲ受ケタルモノニ非ス之ノミナラス全ク御承知モ

ナキモノニテ候旨御通達之貴翰只今接手披見致候

御来示ニヨリ委曲相分リ拝謝ノ至リニ候　夫レトモ是非ニ陳

述シ置カサルヘカラサルモノハ右ノ事柄カ拙者ハ如何様ノ形状ヲ

置シタル事ノ一義ニ有之候
本月十二日天主教牧師「ヲヴーフ」氏態々當館ニ來リテ徳川公
ト閣下及ビ勝安房伯ノ名ヲ以テ憲法發布ノ當日迄日本ニテ
死去シタル外国人ノ為メ祭典ヲ擧行致シ呉候様瀧本某ヨ
リ依頼相成候趣通知有之次第牧師ハ其返答前ニ一ト
先ツ拙者ノ意見ヲ望マレ候
其實（拙者ハ）同牧師ハ依頼ノ措置ヲ聞キテ非常ニ感動シ兹ニ始
メテ憲法ノ明條ニ秀逸ナルト宗教自由ノ時世到來セシトヲ
見タル儀ニ有之候
最初ニ閣下ノ名ガ見ヘタルヲ以テ早速何タル錯念モナク「ヲヴーフ」
氏ニ向ヒ其依頼ニ應セラルベク様返辞致度ト存候右ノ處
其ハ政治上ノ関係ニ有之義ト存シ候ニ付拙者ハ懇意上ヨ
リ外務大臣閣下ノ意見ヲ一應承リ置カザル可カラザルモノト考
ヘ其義ヲ問合セ候處同大臣ハ其目論見ヲ御承知ニハ無
之候得共祭典擧行ノ事ハ実ニ不都合ト認メラレサルノ
ミナラス反テ其意ニ稱賛セラレ候

十四日ノ午後二時ニ別紙寫ノ招状ヲ受ケ取リ候然ルニ其招状ハ
閣下ヘ送達ノ招状トハ一樣ノモノニ無之トノ事貴翰ニテ
始メテ承知仕候
然ルニ拙者ハ刻限通リ上節ニ之トテ過ル戰乱中ニ殺サレタル幕
臣ノ爲メニ設ケラレタル紀念碑祭ニ實際參列スル能ハザ
リシハ外國人ニ宛テタル招状ノ送達不思議ニ遅滞ヲ生シ居
招状中ニアル第一儀式ニ不參致シタル義ニ有之間右樣御
承知被下度候

其翌十五日ニハ午前十時ニ築地天主堂ニ出席セシニ實ニ拙者
ハ招待者ト思ボシキ人ノ一人モ其所ニ見エザリシニハ唖ト驚愕
致シタリシカ（儀ニテ）其後頗ル不満ノ思ヲ催スノ折柄東京府
知事ノ着席ニヨリ漸ク安堵致候
御通知ニテハ瀧本及ビ鈴木氏ハ閣下ニ平謝シタリトノ事ニ
候得共是レ全ク閣下ヘノ平謝ニ有之候
総ヘテ此出來事ニ付テハ結局拙者ハ左ノ通判断致候瀧本鈴
木兩氏ハ更ニ辨解ナキ實ニ証明ナキ欺主張ニ渉ル過ヲ犯（引起）
誤解ヲ施シ其筋ニ對シテ一層ノ誤解ヲ招カル

ベクヲ其責ヲ免カルヽコト能ハザルベシ而シテ彼等ハ真ニ
セリ甚過ギ彼等ヲシテ果シテ真ニ善良ニ真ニ重クシテ且真ニ
善良ニシテ且ツ高尚ナル目的ヲ口実トシテ人ヲ瞞着セントシ
尊キ意思ニ出デタルモノトセハ甚罪愈ミ小ナラザルヘキモノト
シタル者ナレハ其罪一層重カルベシト△
被存度敬具

千八百八十九年四月十八日 於東京

尚ミ「ジッパン、ダイリ、ヘラルド」ナル英国新聞ハ本月十五日発兌
ニテ瀧本鈴木氏ガ発起シタル両祭典ノ事ヲ掲ケテ下度把ミ
有同様ニ二重ノ誤謬ヲ生シ居申候

写

拝啓陳者公爵徳川家達伯爵勝安房子爵榎本武揚
及ビ旧幕臣諸氏ニ代ツテ御通知申上候来ル十四日日曜日午
後一時上野馬見場ニ於テ左ニ通リ執行ノ筈ニ候

第一 過ル戦乱中ニ殺サレタル幕臣ノ紀念碑祭

第二 大競馬

武者駆ケ

母衣馳ケ

外務省

旗奪ヒ

第三 撃劔及ヒ仮装訓練

翌四月十五日午前十時築地天主教堂ニ於テ明治初年前日本ニテ死去シタル各欧羅巴人ノ招魂祭執行ノ筈ニ有之間何卒御出席被下度希望候

委員書記

瀧本豊國 彰

外務省